
 **S5_3_WRF データセット**

1. 識別情報

名称	S5_3_WRF データセット
メタデータID	S5_3_WRF20230727083839-DIAS20221121113753-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	日下博幸
組織名	筑波大学
住所	日本, 305-8571, 茨城県, つくば市, 1-1-1
電話番号	029-853-6481
電子メールアドレス	kusaka.hiroyuki@gmail.com

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@dias.jp.net

3. ドキュメント作成者

名前	鈴木パーカー明日香
組織名	立正大学
電子メールアドレス	suzukiparker@ris.ac.jp

4. データ作成者

名前	日下博幸
組織名	筑波大学
電子メールアドレス	kusaka.hiroyuki@gmail.com

5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

6. データ作成年月日

publication : 2014-08-01

7. データセット概要

7.1 序論

地域気候モデルWRFの日本域現在気候再現実験（境界条件：JRA25、MIROC3 20c3m）と将来気候シナリオ実験（境界条件：MIROC3 A1bシナリオ）。

7.2 トピックカテゴリ (ISO19139)

climatologyMeteorologyAtmosphere

7.3 時間情報

開始日	1981-01-01
終了日	2100-12-31
時間分解能	Hourly

7.4 地理的範囲

北限緯度	47.5
西限経度	148
東限経度	125
南限緯度	25

7.5 グリッド

次元の名称	次元の分割数	次元の解像度
row	129	20 (km)
column	139	20 (km)
vertical	5	varies (hPa)

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	GLOBAL CHANGE > Regional climate change, GLOBAL CHANGE > Global climate models, ATMOSPHERIC PROCESSES >	AGU

	Climate change and variability, ATMOSPHERIC PROCESSES > Climatology, ATMOSPHERIC PROCESSES > Regional modeling	
theme	Models > GCM	GCMD_platform
theme	Climate	GEOSS
place	Asia > Eastern Asia > Japan	Country
theme	Regional Climate Scenario, S5-3, multi-model ensemble, dynamical downscaling	others

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

8. 系譜情報

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

- 本データセットの内容の再配布を許可なく行ってはならない。
- また、商業目的に利用してはならない。
- 本データセットを用いて得られた成果には、本データセットを利用したことを明記すること。
- 本データセットの製作者は、本データセットを利用したことによって発生したいかなる損失、損害に対しても責任を負わない。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表、論文発表、誌上発表、報告などを行う場合は、以下を参考に謝辞を記載すること。また、データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は、それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

13. 参考文献

Noriko N. Ishizaki, Izuru Takayabu, Mitsuo Ooizumi, Hidetaka Sasaki, Koji Dairaku, Satoshi Iizuka, Fujio Kimura, Hiroyuki Kusaka, Sachiho A. Adachi, Kazuo Kurihara, Kazuyo Murazaki, and Kenji Tanaka (2012): Improved Performance of Simulated Japanese Climate with a multi-model ensemble, Journal of Meteorological Society Japan , 90, 235-254.